

神のエコノミーにおける神の恵みを経験する

聖書：エペソ 1:10, 3:9. I テモテ 1:4. ガラテヤ 6:18.

I コリント 15:10. II ペテロ 3:18 前半

I. 神の永遠のエコノミーとは、一群れの人々を得て、三一の神がご自身を彼らの中へと分与し、彼らの命またすべてとなって、彼らが彼に結合されて一となり、彼で満たされ、占有され、地上で彼と一つの有機的な実体となって、キリストのからだ、召会となり、彼を団体的に表現することです——エペソ 1:3-23 :

- A. 神の永遠のエコノミーは、全聖書の中心路線です——エペソ 1:10, 3:9。
- B. 聖書の解釈は、この中心路線によって、その照らしの下で厳格に支配されるべきです——ルカ 24:27, 32, 44。
- C. 焦点づけられ、強調され、供給されるべき一つの事は、神の新約エコノミーです——I テモテ 1:4。
- D. クリスチャン生活は、神のエコノミーのためである生活です——II コリント 5:14-15。

II. 「わたしたちの主イエス・キリストの恵みが、あなたがたの霊と共にありますように」——ガラテヤ 6:18 :

- A. 神のエコノミーの的は、キリストが今日、わたしたちの霊の中で神の恵みであるということです——ガラテヤ 6:18 :
 - 1. その霊が内住しているわたしたちの再生された霊は、神の約束された祝福の中心点です——ヨハネ 3:6. ローマ 8:10, 15:29. エペソ 1:3。
 - 2. わたしたちは、主の恵み（すべてを含む霊の満ちあふれる供給）がわたしたちの霊と共にあることを必要とします——ピリピ 1:19. II テモテ 4:22。
- B. イエス・キリストの恵みとは、わたしたちが自分の人の霊を活用することを通して享受した、三一の神（彼は御子の中で具体化され、命を与える霊として実際化されています）の満ちあふれる供給です——ヨハネ 1:14. I コリント 15:45 後半. II テモテ 4:22. ピレモン 25 節 :
 - 1. 恵みとは、父なる神が御子の中で具体化され、御子はその霊として実際化されることです。究極的に、その霊が恵みです——ヘブル 10:29。
 - 2. この恵み、すなわち、三一の神の究極的完成は、今やわたしたちの霊の中に住んでいます——ピリピ 4:23。
 - 3. わたしたちの霊は、わたしたちが恵みを経験することができる唯一の場所です——II テモテ 4:22。
 - 4. わたしたちは恵みを受けて享受するために、わたしたちの霊に戻ってそこにとどまり、主をかしらまた王として認め、彼の地位を尊重し、彼の権威を尊び、恵みの御座がわたしたちの霊の中にあることを見る必要があります

——ガラテヤ 6:18. ヘブル 4:16。

C. わたしたちは神の子供たちとして、わたしたちの霊の中で、わたしたちの主の恵みを受けて享受する者となるべきです——Ⅱコリント 13:14. ピレモン 25 節：

1. 恵みの霊としてのキリストを受けることは、生涯にわたる継続的な事柄です——ヨハネ 1:16. 啓 22:21。
2. 神が恵みの霊をあふれるばかりに供給するとき、日ごとにすばらしい神聖な伝達が起きているべきであり、わたしたちは継続的に恵みの霊を受けます——ガラテヤ 3:2-5. ヨハネ 3:34。
3. わたしたち自身を天的な伝達に開いて、すべてを含む、命を与える恵みの霊の供給を受ける道は、わたしたちの霊を活用して祈り、主を呼び求めることによってです——Ⅰテサロニケ 5:16-18. ローマ 10:12-13。
4. わたしたちは、手順を経て究極的に完成された三一の神を、わたしたちの恵みとして受けて享受するとき、徐々に有機的に彼と一になります。彼はわたしたちの構成要素となり、わたしたちは彼の表現となります——Ⅱコリント 1:12. 12:9。

Ⅲ. 「神の恵みによって、今のわたしがあるのです。そしてわたしに対する神の恵みは、無駄にはなりませんでした。……しかし、それはわたしではなく、わたしと共にある神の恵みです」——Ⅰコリント 15:10：

A. Ⅰコリント第 15 章 10 節で三度、述べられている恵みは、復活したキリストが命を与える霊と成って (45 節)、復活における手順を経た三一の神をわたしたちの中へともたらし、わたしたちの命また命の供給となり、わたしたちに復活の中で生きさせます：

1. 恵みとは、わたしたちの命またすべてとなる三一の神です——ヨハネ 1:17. ガラテヤ 2:21。
2. この恵みによって、罪人のかしらであるタルソのサウロは (Ⅰテモテ 1:15-16)、最も前面の使徒となり、すべての使徒よりも多く労苦しました。
3. この恵みによるパウロの務めと生活は、キリストの復活に対する否定しようがない証しです——Ⅱコリント 1:12. 12:9。

B. Ⅰコリント第 15 章 10 節の「わたしではなく……神の恵み」は、ガラテヤ第 2 章 20 節の「もはやわたしではありません。キリスト」と等しいのです。これが示しているのは、キリストご自身が神の恵みであるということです——神ご自身が使徒を通して働きます：

1. 使徒パウロを動機づけ、彼の中で活動した恵みは、ある事物ではなく、生けるパーソン、復活したキリスト、父なる神の具体化が、すべてを含む、命を与える霊と成った方、使徒の中に彼のすべてとして住んだ方です。
2. これはピリピ第 4 章 13 節のパウロの宣言に符合します：「わたしは、わたしを力づけてくださる方の中で、いっさいの事柄を行なうことができるので

す」:

- a. ピリピ第4章13節の「力づけてくださる方」は、命を与える霊と成った、復活したキリストを指しています。
- b. そのようなキリストの中で、パウロは力づけられて、いっさいの事柄を行ないました。これが神の恵みです。

IV. 「わたしたちの主また救い主イエス・キリストの恵み……の中で成長しなさい」

——Ⅱペテロ 3:18 前半:

- A. 恵みとは、三一の神がわたしたちにとって、またわたしたちの中で命また命の供給となることです。恵みの中で成長することは、この命の供給の内なる源の中で成長することです——Ⅰペテロ 5:10。
- B. 恵みとは、肉体と成ること、死、復活、昇天を経過した神です。恵みのこれらすべての要素は、わたしたちの内側にあって、わたしたちと一になります——ピリピ 4:23:
 1. 恵みとは、神ご自身がわたしたちの命として、わたしたちと一になり、わたしたちを救い、わたしたちの中にご自身のホームを造り、わたしたちの内に形づくられることです。恵みの中で成長することは、神の増し加わりの中で成長することです——コロサイ 2:19。
 2. 恵みとは、神がわたしたちを訪れてわたしたちの中にとどまり、ご自身をわたしたちと一にすることです。わたしたちはそのような恵みの中で成長する必要があり、彼の栄光は今日から永遠の日へと至ります——啓 22:21。